

医師・看護師・介護職員の大幅増員を

# 日本医労連増員闘争ニュース

第143号

2011年7月12日

日本医労連

増員・夜勤改善闘争本部

TEL:03-3875-5871

## 全国市長会が介護保険制度の提言決議 すべての国会議員と、関係省庁に提出

### 介護処遇改善交付金は 「恒久的措置」に… 「介護職以外にも拡大を」

- ・介護保険の抜本的な改善へ、広がりつづける運動と社会世論！
- ・2012年春の診療報酬・介護報酬のダブル改定をめざし秋の運動を準備しよう

6月8日、第81回の全国市長会が行われ、政府への16件の「重点提言」が決定されました。そのうち「介護保険制度に関する重点提言（別紙参照）」では、介護処遇改善交付金事業について「恒久的な措置とするとともに対象職員を介護職員以外の職員にも拡大すること」を盛り込んでおり、画期的な内容となっています。

重点提言は6月23日、全国国会議員及び関係府省等に提出されました。すでに介護保険の一部見直し法案は、6月15日に成立していますが、市長会の動きは社会的な世論とわたしたちの運動を反映したものです。政府の思惑がどのようなものであれ、国民要求と運動は広がりつづけており、私たちがめざす、2012年ダブル改定にむけた運動に弾みが着くものとなっています。



全国市長会は、介護保険制度などに関する提言の内容を決定した(6月8日、東京都内)

### 富山県では、介護14団体の「介護従事者アピール」への賛同数が、4,000名に迫り、県内介護従事者の3分の1を超える勢い

- ・富山出身の8名の国会議員を招き、8月7日(日)懇談会を計画

富山県医労連も参加する「富山の医療と福祉と年金を良くする会」が取り組む「アピール署名（別紙参照）」は、利用者の負担軽減や軽度者の負担外し反対、介護労働者の人材確保など6点要求が盛り込まれたものですが、介護従事者を対象に呼びかけが始まると、みるみるうちに広がり、賛同者は県内介護従事者12,000人の3分の1に達しました。「会」では、県内の介護事業所900に郵送、およそ5割にあたる400を超える事業所から返信されたとのこと。

8月7日には、富山出身のすべての国会議員によびかけた懇談会を計画。アピール署名が県内の介護従事者の多数を組織したこと、署名参加団体に富山県の「ケアマネ協会」「老健協議会」「ヘルパー協会」など、少なくない介護団体が参加したこともあり、マスコミ活用して国会に声を届けようと意気込んでいます。